



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第11号 平成11年10月1日発行

《第三十七回第一地区体育祭》

優勝は今年も真砂町

三位に上本通、西条・末広に敢闘賞

コミュニティ活動の集大成と

もいえる「第三十七回第一地区体育祭」は、九月五日（日）に

第一小学校のグラウンドで開催されました。前日の雨で絶好のグラウンドとなり好天候にも恵まれ、実行委員や運営委員のご

笑顔とあいさつ、そして・・・

第一地区



沼津市立第一中学校

校長 藤田 浩

旗の掲揚等）に参加しました。

朝八時半からの開会式に先立

ち、それぞれの係が地域の方々

とあいさつをかわし、笑顔で打

合せや準備を進めている姿に出

会いました。

フォークダンスのテネシーワ

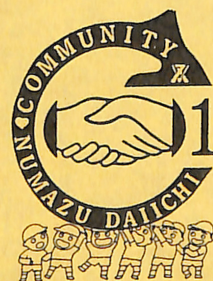
ルツが終わるころ、小学生男子

二人がその輪に加わったのをき

っかけに、何人もの小学生が、

そして中学生二人も・・・目当て

は参加賞のお菓子？・・・それも



協力で、各町内から参加した老若男女が各種競技に楽しく心地よい汗を流した一日でした。

今年の大会の運営には小学六

年生も中学生とともに参加し、

地域の一員としての役割を立派

に果たしてくれました。

町内対抗の結果は、真砂町が三年連続で優勝、女子人生航路で優勝した上本通町が総合三位昨年以下位に甘んじた西条、末広が四、五位で敢闘賞を獲得。またよし。

普段、学校での笑顔とひと味違う、はじけるような笑顔がそこにありました。それを応援する大人の笑顔も、子供たちのそれと同じでした。

現在、一中生は、一五八世帯

一八一名、また第一校区の一人

老人世帯が一五一世帯とのこと

老いも若きも地域の一員。どう

ぞ、この日の笑顔やあいさつ、

そして、そこに通い合う温かな

心を、若いコミュニティの要に

おいて、みんなでこの地域を育

てて欲しいものと心より願って

止みません。

順位	町名	得点
優勝	真砂町	24
優準	砂子町	22
	丸通町	20
	錦上町	18
	西条町	17
	末広町	16
	大添町	15
	八幡町	13
	連合町	13
	白銀町	12

人生航路ファミリー賞

- ☆杉本浩志・政代・優依・絵理 (添地町)
- ☆長谷川智久・恵・翔亮 (錦丸子町)
- ☆服部 泰幸・百代・創・碧 (末広町)
- ☆鷲巣 祥司・美和子・彩子 (八幡町)

←次頁に関連記事掲載・・・

今年は樽ころがしの代わりにスポーツ玉入れをとりいれ人生航路の年齢配分をかえるなどの工夫をして大会を盛り上げましたが、小、中学校の生徒数の減少、町内間格差等を考慮して、第一地区コミュニティとしての「体育祭」を検討する時期に来ていると、痛切に感じた大会でもありました。



実行委員長 持田 賢一

今年はコミュニテイの主目

に則り地域の活性化を図り、運営方法や種目にも工夫をし、中学生は元より小学六年生にも運営に協力していただきました。初めて実行委員になりました。本当に多くの方々が熱心に運営しているのが解り、敬意を払うとともに感動しました。

中学生リレーに生徒と一緒に走り、何時までも若く青春でありたいと思ったのは私だけでしょうか。「青春とは心の若さである。信念と希望に溢れ勇氣にみちて日に新たな活動をつづける限り、青春は永遠にその人のものである」こういう気持ちで若さを持つて、地域活動が続けたいものだと思います。



九月一日は防災の日

「もう一度、
一から取り組む
防災訓練」

をスローガンに「県下一斉総合防災訓練」が実施されまし
た。

総合防災訓練は、九時三十分「駿河湾から遠州灘を震源地に県下全域で震度6弱以上の揺れを感じる大地震が発生」を想定して進められました。

「防災の心得 もう一度」

第一地区十三自主防災組織も既に提出された計画書に基づき、それぞれの実情に則した訓練が実施されました。

静岡県の自主防災組織は、

自治会単位に結成され、組織率はほぼ百%となっているものの、県民の自主防災活動に参加する意識が希薄になっており、もう一度住民自らが、必要性を再認識する必要があると指摘されております。

「自分のための防災対策の日」

十二月五日（第一日曜日）

は「県下一斉地域防災訓練」の日です。第一地区では本年は「会場型訓練」は行わず、十三自主防災組織それぞれの実情に則した訓練の実施となっております。

『自らの命は 自らで守る
自らの地域は 皆で守る』
を合言葉に、「自分のための
防災対策の日」にしてください。
い。



成人式は一月十日(月)開催

新成人議會も開かれる

第一地区の成人式は、平成十二年一月十日（月）に例年どおり「高砂殿」において開催を予定しております。

新成人の皆さんには、沼津市より十二月下旬までにハガキで案内状が届けられます。

学生や就職で沼津以外に住むの新人の方もお出でいただけます。出席希望の方

・日時 平成11年11月14日(日)
9:00~15:30
・場所 第一地区センター
および第一小学校体育館

《展示の部》

書・絵画・生け花・盆栽・手芸・陶芸
写真・折り紙教室・趣味の教室・茶道
囲碁将棋大会・健康相談コーナーなど

《芸能の部》

楽器演奏・合唱・民踊・日舞など

《アトラクションの部》

輪投げ大会

《模擬店・販売の部》

豚汁、飲み物の無料サービス
ハット&ティシュバー、蜜柑、パン販売など

詳細はコミ新聞の折り込みチラシを読んで
いただき、参加申込みをしてください。
(コミュニティ祭実行委員会)



には案内状をお送りいたしますので、各町内の青少年育成推進委員の方に、ご家族の方からご連絡ください。

また、本年同様に新成人議会も開催を予定しておりますので、参加希望者は推進委員にお尋ねください。

青少年育成推進委員会
酒井 明

問い合わせ電話番号
(62・1988) 酒井

それでも信じたい

沼津市青少年教育センター

主査 横田 里江

センターでは、地域の皆さんや小・中・高等学校の先生の協力で、中央補導をおこなっております。

今年の夏休み中の補導活動で特に目立ったことは未成年者の喫煙でした。高校一年生女子が多いように思います。昨年末よりじわじわと喫煙での補導が多くなり、補導に出るたびに声かけをするという状況でした。悪びれずに、堂々と人前で吸っているというの、一つの社会現象のようです。

ある補導の日、16歳の女子高校生が喫煙していたので声をかけました。

「父は義父、家庭が嫌で何度も家出をしたんだよ。警察のサポートセンターにも何度も行っているよ。家に居るのが嫌だからコンビニでアルバイトもしているよ」

「煙草止められる？」

「吸いたくなったらガムを噛んだり飴をなめたり」

「結局は止めるという自分自身の強い意思がないと駄目だね」

「そうかあ、皆そう言うよ、自分の意思だってサポートセンターの人も言っていたよ」

「将来は美容師になりたい。好きな髪形ができるしカッコいいじゃん。おばさんどう思う？」

「将来の目的が決まっているのはいいじゃない。その為にはきちっと卒業しなくてはね。いい美容師になれるよう頑張るってね」

「おばさんはベトナムに行ってきたんだよ。ベトナムには親に棄てられ道路に寝て生活している子供たちがいっぱいいるんだよ。その子供たちに援助の手を差し延べている日本人がいて『子供の家』を作り、子供たちの生活をみているんだけど、その子供たちは生き生きと目を輝かせているよ。一番やりたいことは学校で勉強することだって」

「私行ってみたい。今度行く時には連れて行って」と、その子は目を輝かして、今までのチャラチャラした態度が一変しました。

「今度行く時には連絡しようか。行けるようにバイトのお金貯めておいてね。親に頼らず自分の力で行けたら、それはすごいことだと思うよ」

「必ず電話して・・・」と彼女。連絡することを約束してその場を離れた。

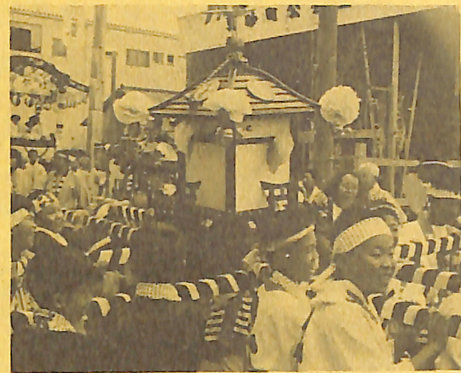
私は信じました。非行に走っていると傍からみられても、内面にあるものは優しさや寂しさを含んだ“素直な心”の持ち主だと。

後日

ずっと気になっていました。約束があったので、その件で問い合わせてみました。住所も電話番号も学校もサポートセンターに係わったことも全部うそでした。

子供たちの言うことを全て疑ってしまうとしたら何と虚しいことでしょう。ほんの少し心の扉を開いて話してくれたんだと信じたい。

子供たちが育っている社会は、私たち大人が作った世界なのだから。



秋まつり

秋は祭のシーズンから
浅間神社の祭典から



子どもの心・見えましたが？

地域ふれあい講座

沼津市教育委員会生涯教育課が主催し、第一地区コミュニティ推進委員会が協賛して

開かれていた「地域ふれあい講座」。七月に開かれた第一回講座には百三十一名の方が参加、高梨先生の「子どもの心が見えますか」に興味深く熱心に耳を傾けていました。

第二回目は九月に「子どもの心を育む地域の力」と題して森明先生が講演されましたが、先生の経験体験からの話は説得力のある内容でした。

第三回目は十月二十八日に志田直正先生の「未来へ羽ばたく子どもたち」の講演が開かれます。

親子、家族間の信頼関係、大きくは地域との信頼関係がいまこそ必要なときです。子どもたちを正しく理解し、地域ぐるみで子どもを育てる暖かな人間環境や地域づくりをしたいものです。

皆さまぜひ「地域ふれあい講座」にご参加ください。

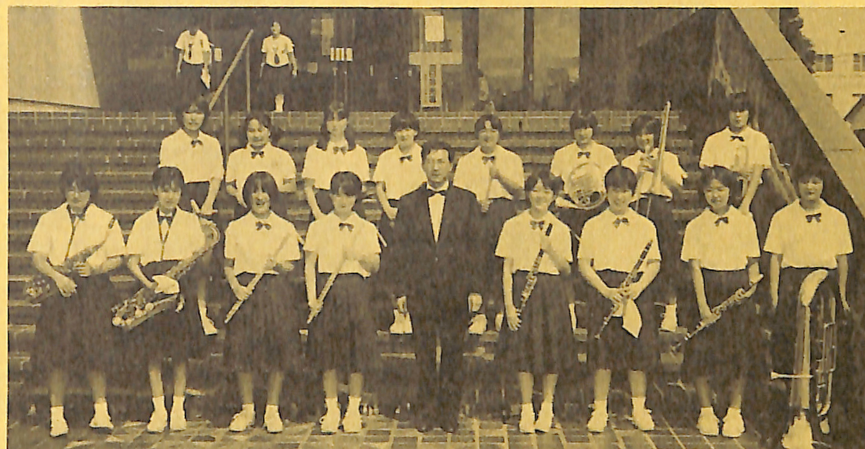


第四十回静岡県吹奏楽コンクール 東部地区大会で金賞・県大会では銀賞を獲得 少人数の第一中学校吹奏楽部が大活躍

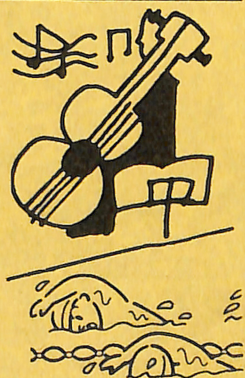
第四十回静岡県吹奏楽コンクールにおいて、一中吹奏楽部が大活躍、七月二十九日に行われた東部地区大会では、曲目「夜明けの光」を演奏しバランスのとれた自然な表現

力が高い評価をうけ、見事に金賞を獲得した。

東部地区代表として、八月五日、島田市民会館で行われた静岡県大会においても、銀賞に輝いた。三十人で演奏す



- 中吹奏学部メンバー
- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|
| ◎山押高白浅菅河徳 | ○野橋井谷沼野沢 | 光瑠豊若あ祐由 | 代美美奈み美佳馨 | (3A) ルート | 植山山田井田庄山 | 松本田川村辺司口 | 春弥芙太奈奈美純 | ◎部長 香生美悠央美希恵 | ○副部長 トンボ | (3B) ルート | 植山山田井田庄山 | 松本田川村辺司口 | 春弥芙太奈奈美純 | ◎部長 香生美悠央美希恵 | ○副部長 トンボ |
|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|

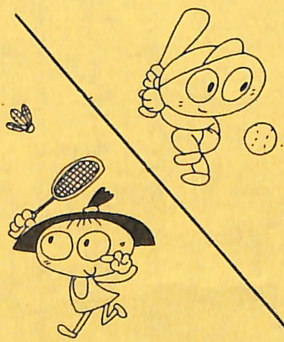


る学校が多い中、十六名という少人数でのコンクール参加であったが、素晴らしい演奏は、聞く人達を感動させた。

体育部

父親ソフト沼津地区大会

壮年男子を中心とした年代別構成によるソフトボール大会に、今年も第一地区として梅沢監督(真砂町)を中心に十八名の選手が参加。暑さの厳しい八月二十二日(日)市



中学校総合体育大会には、団体種目、個人種目に、多くの一中生が参加。特に水泳競技では、東部代表として県大会に出場した福田麻祐美さんは二百種個人メドレーで四位四百種個人メドレーでは三位五十種自由形では小野田正彦君が五位に入賞した。

夏期バドミントン大会

軽スポーツ普及の一環として始めた第一地区バドミントン大会も二十二回を数えることになりました。

今回は初心者にも気軽に参加していただき、講習会を兼ねて八月二十二日に開催。初心者の部に二十名、一般の部に二十名が参加し、楽しく開

無事故無違反コンクール

今年も沼津署管内の自治会別「わがまち」コンクールが9月10日(土)に開催された。昨年度は、今年も無事故無違反の表彰がなされた。今年も無事故無違反の表彰がなされた。

地区センター休館日

10月	4. 11. 18. 25
11月	1. 8. 15. 22. 24. 29
12月	6. 13. 20. 24. 27. 29. 30. 31

☎63-5088

(体育部長・市川 保)

催できました。今度は来年の三月頃に大会を計画しております。また、ソフトバレーボールインディアカ等の軽スポーツの普及に取り組んでおりますので、気軽にご参加くださるよう期待しております。